

【市長コメント】

令和6年5月26日から、もう10か月も経過しました。島崎奈桜ちゃんの失われた尊い命に向き合い寄り添いながら、子どもたちの命を徹底的に守るまちでありたいとの思いで、犬山市児童虐待対応マニュアルをつくりあげました。

このマニュアルは、犬山市がづらい思いをしている子どもたちに何ができるか。何をしなければならぬのか。内部検証報告からの課題を正面から受け止めて、もう同じことを二度と起こさないよう、危機感を持って再発防止対策に取り組むためのものです。そこで、犬山市が主体となって対応していきます。どんな不安情報にも向き合っていきます。犬山市がもつすべての情報、人材、つながりを活かし、切れ目なく対応していきます。それとともに職員の意識と知識、その上での対応力を高めながら、職員一人一人が業務にあたっていきます。

また、来年度から子育て世代に向けて、新たな訪問支援事業を実施していきます。そして、子どもの権利を保障するための条例を制定します。それは、子どもたちの命を守りたいからです。子どもが健やかに育ていけるためです。子どもの幸せを一番に考えていきたいからです。その思いで、犬山のみなさんと、子どもが安心して生きることができる犬山づくりを進めていきます。

奈桜ちゃんが犬山市で残してくれた足跡は、いつまでも忘れないし、大切に続けていきます。改めて、奈桜ちゃんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

令和7年3月27日

犬山市長 原 欣伸